

平成29年度第2回徳島市立図書館協議会 会議録要旨

- 1 日 時 平成30年3月22日(木) 10:00～11:20
- 2 場 所 徳島市役所 13階 第一研修室
- 3 出席者 委員 委員長 三木スズエ(家庭文庫代表)
副委員長 新 孝一(四国大学 日本文学科准教授)
委員 井上 明美(入田小学校長)
吉成 正一(市文化協会会長)
細井 啓造(市社会教育委員長)
諏訪 公子(市中央公民館運営審議会委員)
加村 祐志(市議会文教厚生委員会委員長)
佐藤 義忠(元富田中学校長)
板東 恵子(市婦人連絡協議会会長)
若松 義明(徳島市・名東郡PTA連合会会長)
村崎 弘子(市少年を守る母の会会長)
町田 豊治(県立図書館館長)

事務局 市教委(社会教育課) 西名課長、建島課長補佐、山口係長、堤主査
図書館(指定管理者) 國金館長、廣澤副館長、勝浦副館長、佐野副館長、渡部チーフ

4 議 題

(1) 平成29年度の活動状況について

図書館長より説明

<質疑応答①：移動図書館いずみ号について>

委員 図書館に行きたくても行けない方に、図書館は今後どういったサービスを行っていくのか、移動図書館の活用も含めて考えを聞きたい。

事務局 図書館に来られない理由を知るために、そごう徳島店の前と徳島市ホームページ上で図書館についてのアンケートを実施した。場所を知らないなど様々な理由があったが、その結果をふまえて今後具体的に対策を練っていききたい。まずは図書館を知らない方への広報に努め、あわせて移動図書館の有効活用を考えていきたい。

委員 アンケートの結果も含めて、検討して行ってほしい。加えて、駅前まで出て来られない方にどういった対策を講じられるのか。

事務局 添付資料内にあるように利用促進サービスとして「在宅送本サービス」や「障害者の方へのサービス」にも重点項目にあげているので、この点も踏まえて頑張っていきたい。

委員 図書館の話題になった際に、図書館を利用をしていない高齢者が多かった。その理由として、バスで徳島駅前までは行くが、図書館を利用する最初のきっかけが無いため、行きたくても

行けない。また様々な年代に聞いた場合には、駅前まで車で行くが図書館に行くために駐車場に停めてまでも行こうと思わない人が大半だった。移動図書館については、運用を開始してから長い年月が経っていると思うが、移動図書館が今現在どのような形態や仕組みになっているのかが分からないなど情報が少ない。

自宅近くで利用したいと思っている高齢者には、ステーションに行くこと自体が大変なこともあり、移動図書館の更なるアピールや、利用しやすいアイデアをなんとか出してもらいたい。

事務局 移動図書館について、今年度よりイオン徳島の駐車場にも巡回するようになった。現在巡回先は76箇所だが、ご要望があれば徳島市と協議しながら利便性の向上に努めたい。

委員 スーパーの駐車場などの巡回場所は、買い物のついでなどで行きやすく良いと思う。

委員 今年度、入田小学校にいずみ号に来てもらった。校区として近いのは県立図書館だが、行くためのバスがない。現在はコミュニティセンターにいずみ号が来ているが、そこに学童ができたため、以前より本を読むようになっているし、いずみ号のことも私たち大人よりよく知っている。子どもたちに本を読ませようとする、そういった学童や学校などが借りやすい環境だと思う。廣澤副館長にも来校してもらっており、とても本が好きになってきている、そのため借りる冊数もすごく多い。あわせて保護者も借りたいという要望がある。ただ、年少の子どもだと複数冊借りると重くて家に持って帰るのが難しい。その子どもたちを見ていると、お年寄りが本を借りて帰るというのは、もっと大変ではないかと感じる。それでも、移動図書館は充実しており、とても効果的だと思う。

事務局 今年度は入田小学校、昨年は論田小学校に伺い、いずみ号の紹介をした。その後、今年から新しい巡回先として論田地区の学童に伺っている。子どもたちの反応は大変良く、いずみ号も知っており、利用してくれている。地域や学校が受け入れてくださることで、図書館から離れた環境の中でも、保護者の方も含め多くの方に知っていただく機会になると実感している。積載量が限られたいずみ号ではあるが、テーマを決めて展示をしたり、借りていただけるような様々な工夫を凝らしており、機会があればぜひいずみ号を見学、ご利用いただければと思う。

委員 移動図書館のいずみ号は1台のみで市内76箇所を回っているとのことだが、いずみ号は新しくされたりしているのか。

事務局 車両は更新しているが、台数は1台である。

委員 台数を増やす事には様々な課題があるとは思いますが、四国の県都市の移動図書館はどのような状況か。

事務局 正確な状況は調査できていないが、要望が多くある自治体は、いずみ号のような大きな車と、小さなバンのような車で巡回している所もある。

委員 人員、予算など課題はあるが、これだけのニーズがあるのであれば検討する価値はあると思う。アミコビル本館で利用者の来館を待つだけでなく、先程の話からも分かるように、移動図書館の巡回があれば利用したいと思っている人は多いはずである。ぜひ他県の事例なども調査検討してほしい。

<質疑応答② 新規利用登録者について>

委員 新規の登録者数が少なくなっているという話だが、全体の登録者数はどうなっているか。

事務局 昨年度末で有効登録者数が約 12 万人である。

委員 徳島市人口の 40%くらいか。

事務局 人口が約 25 万人なので、半数まではいかない状況である。

委員 何年か図書館を利用しなかった場合は、登録は除籍するのか。

事務局 登録を消すことはない。

委員 例えば県外に転出した、亡くなられたというような場合は、利用者や家族からの連絡がないと分からないと考えるが、現在どのように対応しているのか。

事務局 そのような方も含まれていることもある。教えていただかない限り登録はそのままである。

委員 一度登録しておけば、ずっと使用できるのか。

事務局 使用できる。

<質疑応答③：電子図書館について>

委員 図書の一部が電子化されているようだが、蔵書のうち自宅からインターネット接続して見られる電子図書はあるのか。

事務局 電子図書はある。

委員 図書館に行かなくても見られる電子図書は非常に便利である。利用者数に電子図書館利用者数は含めているのか。

事務局 電子図書館利用者は含めていない。別統計になっている。

委員 今後普及させていくのであれば、利用者数に入れなければ数字が減っていくことも考えられる。

委員 活字の印刷物の方が読みやすいとも言われているが、高齢者にとっては自宅で読めることや、字を大きくできるなど電子図書の利点は大きい。今後、図書館に来館されない方についても統計に含めていった方が良いのではないか。

事務局 電子図書館の蔵書数が約1,500冊なので、全体の蔵書数50万冊から見ると一部ではあるが、ご利用いただいている方も多い。

委員 駅前へ移転して、図書館として素晴らしいものになった。市民の要望を取り入れつつ、図書館の効果、活動などをしっかりと市民へ伝えていかなければいけない。

事務局 市民の意見を十分反映して、伝えていきたい。

(2) 平成30年度の事業計画(案)について

図書館長より説明

<質疑応答①：バリアフリー映画について>

委員 バリアフリー映画について、昨年参加された方はどういった障害がある方か。

事務局 視覚、聴覚に障害のある方だった。映画自体は、例えば私が右手を挙げた場合、「主人公が右手を挙げました」というようなナレーションが付くようになっている。視覚に障害がある方でも、映画内でどういった動きをしているか分かるように作ってある。一般の方が見ても違和感なく見ることができる映画となっている。

委員 現在、視覚障害の方に着物の着付けを教えているのだが、大変上達が良い。自分が参加できる場所にはぜひ行きたいと思っているような積極的な方が多いので、こういったイベントを視覚障害のある方に紹介したいと思う。

<質疑応答②：読書通帳機の導入について>

委員 「読書の記録」について、記録内容として資料コードは不要で、空欄になっていた方がメモ欄として書き込めてよいように思う。印字する機械は図書館に設置するのか。

事務局 図書館内に記録する機械を設置してご自身で印字していただく。本を貸りた際に、記録冊子をATMのように機械に入れると印字できる。お子さんには非常に喜んでいただけると考えている。

<質疑応答③：情報発信について>

委員 新規事業も含め多彩な事業を実施されていることに敬意を表す。このような催し物の情報はソーシャルネットワーキングサービス(以後、SNS)で発信しているか。

事務局 現在、図書館のSNSは無い。

- 委員 公的施設だと利用しにくいのか。
- 事務局 県内では阿波市、美馬市がフェイスブックを利用している。その他、ツイッターやインスタグラムを利用している図書館もある。
- 委員 そういったものを使えば図書館の利用促進につながるように思う。
- 事務局 現在、指定管理業務仕様書では原則徳島市のホームページを活用する事となっており、図書館単独で SNS は利用できない。
- 委員 指定管理になっている方が SNS はやりやすいのではないかと思うがどうか。
- 事務局 徳島城博物館も SNS を開始したので、前向きに検討したい。
- 事務局 情報を発信、収集するものとしても SNS を活用されることが多い。個人情報に留意しつつ、図書館の活動内容やイベント報告などを掲載することで、興味を持っていただけ、次回の参加や来館につなげることができるのでは思う。そういった点からも SNS は活用できるため、できれば利用したい。

(3) その他

- 委員 学校図書館からの相談窓口を作られるという話について、徳島市内の小中学校の学校図書館の実態という事はよく知らないが、北島町、鳴門市など他の自治体では学校司書を配置し始めた。徳島市内ではどういう状況か。
- 事務局 学校教育課が主管で行っており、資格を持っている学生にボランティアで来てもらうということを開始したと聞いている。また司書資格を持った専任の教諭を配置することは、現状難しいと聞いている。
- 委員 鳴門市は数年前から始めているとのことだが、北島町も今年度より司書が配置されることになった。当初は短時間での採用とのことだったが、北島町との協議を重ねた結果、フルタイムでの採用となった。正規職員での募集ではないと思うが、いくつかの自治体でそういった動きが出ている中で、徳島市でも考えておられるか伺いたかった。

以上